

中高一貫校という特性を利用しているため授業の進度は速く感じ、中学のうちから高校の内容に入る教科もあるため戸惑いを感じるかもしれません。しかし、そのおかげで高校2年生までにほぼ全ての教科で全カリキュラムを終わらせることができ、高校3年生では大学受験に向けて多くの時間を演習に割いて大学受験に臨むことができます。また、質問に対して先生方は生徒が理解するまで最後まで熱心に教えてくださるため、疑問に思ったことに立ち向かうには最適な学習環境が整っています。

茨中・茨高での6年間は、とても充実したかけがえのない経験や思い出を積むことができました。体育祭ではクラスや学年ごとに分かれず、3学年で4色に分かれて争うため、中1の頃から同級生や先輩との絆を築くことができました。また中3の研修旅行では自分で旅行プランを考え、同時に探究学習を行うため、京都での自分が知りたいことをより深く学ぶことができます。それを基にプレゼンを行うので余計忘れられない思い出となりました。さらに私の所属する生物部では中学と高校が一緒に活動していたため、6学年と一緒に活動する部内は先輩や後輩との縦の繋がりをとても強固にしてくれました。そして、先輩方が卒業後も連絡を取り続けるなどかけがえのない出会いをすることができました。私は生物部での活動を通して、データの管理や様々な資料作成、プレゼン能力など一生役に立つ様々な経験を積むことができました。高校の文化祭では各クラスが生徒主体となって出し物を決め、自らの手で作り出していきます。その中でさらにクラス内での絆は強固なものとなり、生徒自身の主体性や発想などを育むこともできました。文化祭で得られることのできるものはとても貴重で、さまざまなことを学ぶことができ、私の一生の思い出です。

茨中・茨高の良いところはやはり先生方だと思います。生徒が疑問に思い質問してきた内容に理解するまで最後まで付き合ってくれます。また、各教科の先生の数も多いので、常に誰かには質問することができ、自分に合った先生を見つけることもできます。そして茨中・茨高の先生方はそれぞれ個性が強いですが、面白かったり、わかりやすい先生がたくさんいます。中学高校の6年間でさまざまな先生方と出会うことができ、自らの目指す将来像へと手厚くサポートしてくれる最高の学舎です。このような素晴らしい環境で過ごすことができ、私はとてもかけがえのない経験をさせていただいたことに感謝しています。

私は理学部へと進み、生命科学についてより多くのことを学びます。そしてそこで得た知識などを基に、今世界で問題となっている環境問題の解決に尽力し、困っている人々を助けたいと思います。そして、将来環境問題によって困る人々が少しでも減る世界を目指したいです。